

1. 交付金事業の名称 令和4年度エネルギーに関する教育支援事業費補助
2. 交付金事業の事業主体 青森県
3. 交付金事業の実施場所 青森県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】(百石高等学校、むつ工業高等学校)

(1) 実験器具・実験材料の整備

火力発電実験模型、燃料電池自動車キットを整備し、活用した。

(2) 施設見学の実施

太陽光発電所、核融合研究開発機構加速器、六ヶ所村次世代エネルギーパークを見学した。

【市町村事業】(平川市、藤崎町、野辺地町、大間町、階上町)

(1) 実験器具・実験材料の整備

戸田式霧箱、簡易放射線検知器、燃料電池実験器、電磁力実験セット、電気の利用実験ボードフルセット、デジタル蓄電実験器等を整備し、活用した。

(2) 施設見学の実施

八戸火力発電所を見学した。

(3) 講演会の実施

エネルギー及び放射線に関する講演会を実施した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 3, 774, 862円

交付金充当額 3, 774, 862円

6. 交付金事業の成果及び評価

・当事業により、原子力・エネルギー分野の学習について、児童・生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標90%に対して実績98.6%、施設見学の実施事業が目標85%に対して実績88.9%、講演会を実施したエネルギー学習の実施事業が目標85%に対して実績95.7%であった。施設見学の実施事業では、新型コロナウイルス感染症対応のため、施設見学を中止せざるを得なかった学校もあったが、代替の授業を実施したことにより、目標値を下回ることなく事業を実施することができた。全体的には、実験器具・実験材料の整備事業によりこれまでできなかった観察や実験を実施することができ、体験的な学習活動を当事業により充実させることができたと評価される。より一層理解度を高めていくためには、整備した実験器具を継続的かつ計画的に活用できるような授業を年間指導計画等にしっかりと位置付け、児童・生徒の学習効果を定量的に分析し、学習改善につなげていくことが大切である。

・原子力・エネルギーに関する教育のため、環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標90%に対して実績99.2%、施設見学の実施事業が目標90%に対して実績100%、講演会を実施したエネルギー学習の実施事業が目標90%に対して実績98.6%であった。実験器具・実験材料の整備事業では、非常に高い満足度を得ることができ、当事業の目的は十分に果たせたと評価できる。今後も、児童・生徒の実態や学習状況を把握しながら、地域の原子力・エネルギー関連施設と連携するなどして原子力・エネルギー学習への興味・関心を高め、体験的な学習活動を実施していくことが重要である。